

報道関係者各位

2018年7月13日

## ZEH基準を満たす集合住宅を供給する建設業者として「ZEHデベロッパー」に登録 環境負荷の低減に寄与する『ZEH賃貸住宅』の提供を促進

大東建託株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:熊切直美)は、経済産業省、環境省が推進する「平成30年度ネット・ゼロ・エネルギーハウス支援事業」(以下、同事業)において、一般社団法人環境共創イニシアチブ<sup>※1</sup>が公募した第1回「ZEH(ゼッチ)デベロッパー」登録で、5月28日(月)に「ZEHデベロッパー」として登録されました(登録番号: ZEHM30-00002-C)。

当社は、2017年11月に静岡県で完成した、日本初となるZEH基準を満たす賃貸住宅をはじめ、現在3棟の供給実績があります。また、今年5月より、さらに省エネ性能と事業性を向上させた「ルタン ソレイユ」の販売を開始しました。今後もZEH基準を満たす賃貸集合住宅を積極的に供給することで、環境負荷の少ない「ZEH賃貸住宅」の普及をさらに進めていきます。

※1 環境・エネルギー制約及び経済的社会的環境の変化から生じる課題解決に向け、オープン・イノベーション等をもって、技術革新と市場創造主導することを目的として設立。経済産業省の同事業では「ZEHデベロッパー」の登録、補助金の審査・交付を担当している。

### ■ZEHデベロッパー登録制度とは

2014年に閣議決定された「エネルギー基本計画」では、「住宅の年間一次エネルギー消費量が正味(ネット)でゼロとなる住宅の実現を目指す」ことが国の政策目標として掲げられています。

これを受け、経済産業省と環境省は本年2月、集合住宅版のZEH「ZEH-M」<sup>※2</sup>を供給する建設業者を「ZEHデベロッパー」として登録し、登録事業者が建設する「ZEH-M」に対する補助制度の概要を発表しました。

登録を受けた「ZEHデベロッパー」は、「ZEH-M」の供給計画の策定や、供給実績の公表などが求められます。

また、発注者はZEHデベロッパーに登録された建築請負会社へ、ZEH基準を満たす集合住宅を発注する場合、建設費用の一部について補助を受けることができます。

※2 ZEH-M(ゼッチ・マンション)とは、Net Zero Energy House Mansion(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス・マンション)の略で、住まいの断熱性・省エネ性をあげ、太陽光発電などでエネルギーを創ることで、年間の一次消費エネルギー量(空調・給湯・照明・換気に使う電力)と発電量の差を±0とすることが可能な集合住宅のことです。

### ■当社が提供するZEH対応賃貸住宅

当社は同事業の適合商品として「ルタン ソレイユ」と「ルタン(低圧一括受電)」の2商品を展開しています。

両商品ともに、高断熱複層ガラスや高性能断熱材を採用することで、エネルギー消費量を削減。さらに、各住戸に接続する太陽光パネルを標準で搭載することにより、ZEH-M基準を達成しています。

ルタン ソレイユ



ルタン (低圧一括受電)

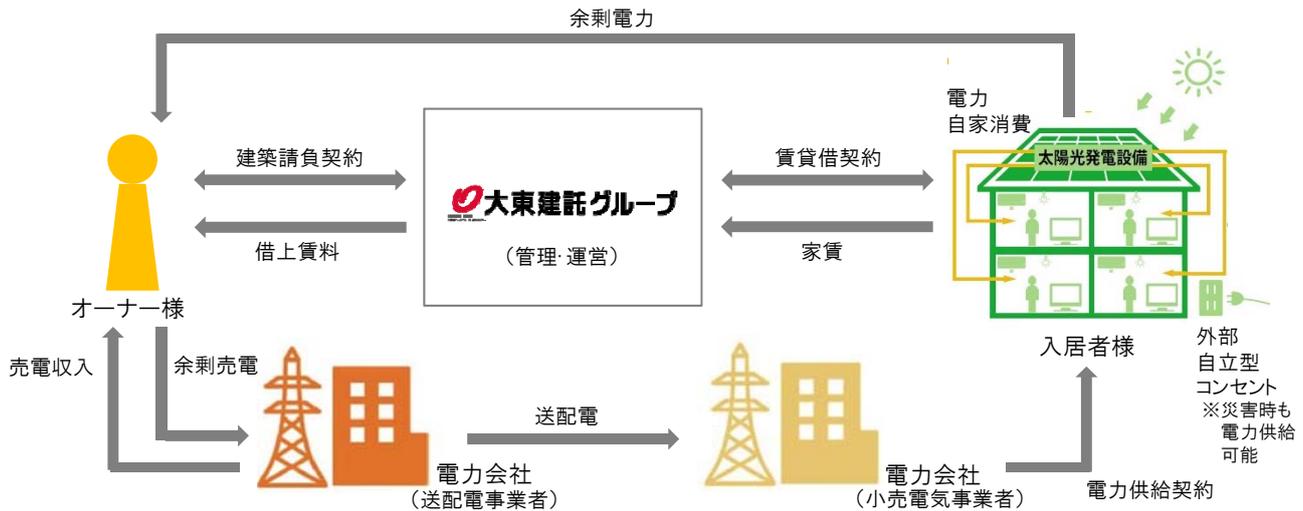


## ■商品により太陽光発電を含む電力調達と消費の仕組みを変えています

「ZEH-M」基準を満たす当社商品「ルタン ソレイユ」と「ルタン(低圧一括受電)」は、太陽光発電を含む電力の調達、消費の仕組みにそれぞれ特徴があります。

### 【ルタン ソレイユ】 オーナー様と入居者様の双方がメリットを得られる各戸受電方式

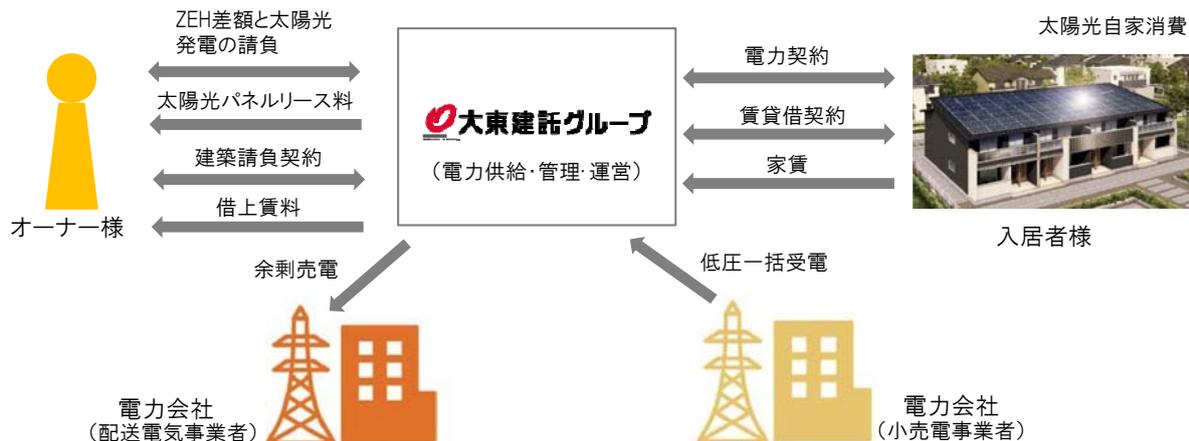
「ルタン ソレイユ」は、日中発電した電力を入居者様が使用し、余剰分をオーナー様が売電する、オーナー様、入居者様双方が、創エネメリットを受けられる賃貸住宅です。更に外部に設置した自立型コンセントは、災害時に太陽光で発電した電力を使用することができ、災害発生時の電力供給にも貢献します。



【太陽光発電スキーム(イメージ)】

### 【ルタン】 低圧一括受電システムを用いた大東建託オリジナルZEH賃貸住宅

低圧一括受電システムとは、低圧での電力受電、余剰電力の売電、各住戸における太陽光発電電力の自家消費等を、電力会社との間で大東建託グループが一括して管理を行うもので、当システムを採用した「ルタン」は、大東建託オリジナルのZEH賃貸住宅です。太陽光発電システムのリース料収入によるオーナー様の事業性向上や、入居者様の光熱費削減などのメリットがあります。



【太陽光発電スキーム(イメージ)】

< 本件に関するお問い合わせ >

大東建託株式会社 広報部 広報CSR課 TEL:03-6718-9174